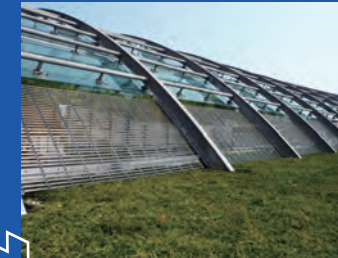




TTKベルト式 ネットフェンス



防風・防雪・防砂・植樹保護



TTKベルト式 ネットフェンス

株式会社TTK

〒984-8568 宮城県仙台市若林区中倉2-2-23

TEL (022) 297-6888

<https://www.ttk-g.co.jp/community/fence/>



道路/公園/施設/漁港など 様々な環境に フィットする。

樹脂製のベルト式ネットを
張り立て材に利用したフェンスです。

9つの特長

- 1 優れた防風・防雪効果
- 2 建設、メンテナンスが容易・低コスト
- 3 高い引張強度で伸びにくい
- 4 優れた耐久性で錆びない
- 5 景観を損なわない
- 6 圧迫感がない
- 7 斜め風にも有効
- 8 従来の防風・防置柵の更改にも使用可能
- 9 電波障害が少ない

NETIS (New Technology Information System)

登録番号 HK-130005-A

IT'S (Ibaraki Technology Information System)

登録番号 b-17027

静岡県新技術・新工法情報データベース

登録番号 1618

岩手県新技術活用促進事業 新技術等登録

登録番号 第29-1

みやぎ優れMONO 認定番号 M1904

優れた防風・防雪効果だから



特殊な寸法も自由自在



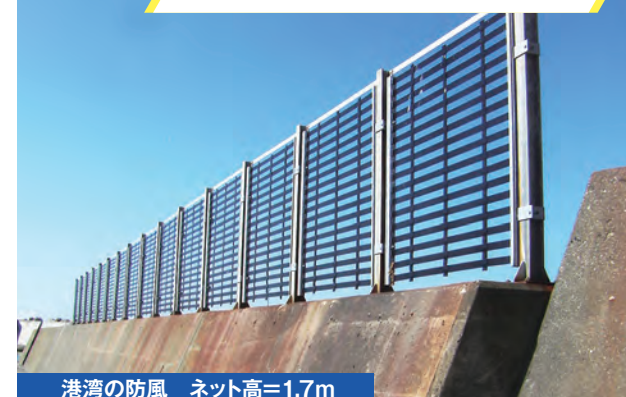
電柱を利用して



防風林の代わりとして



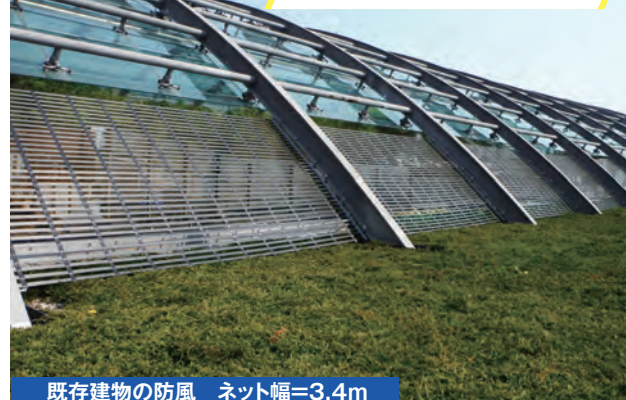
過酷な環境にも最適



不要な季節は基礎ごと撤去して



今ある柱を利用して



市販の基礎を利用して



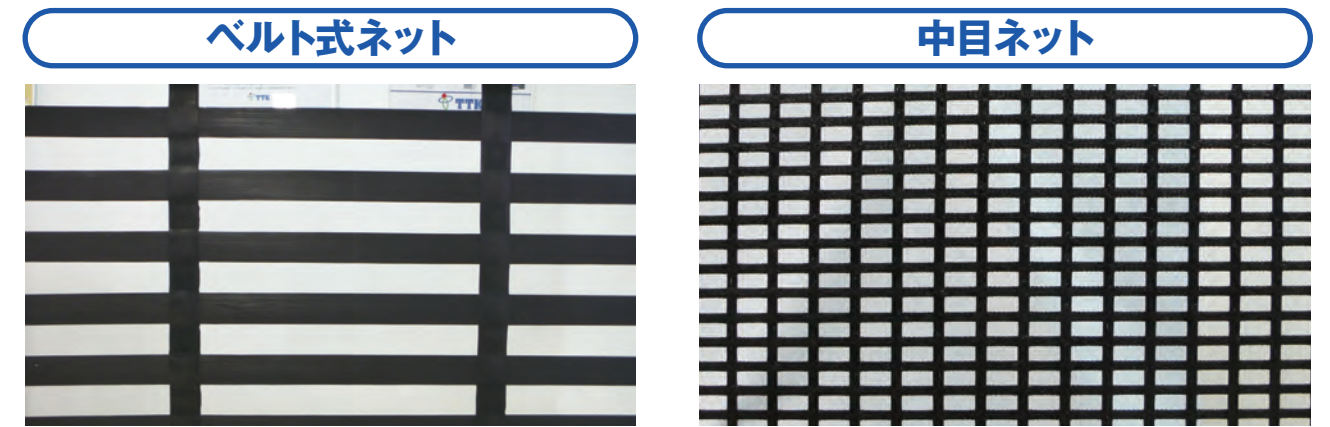
暗くならないから



柵の種類

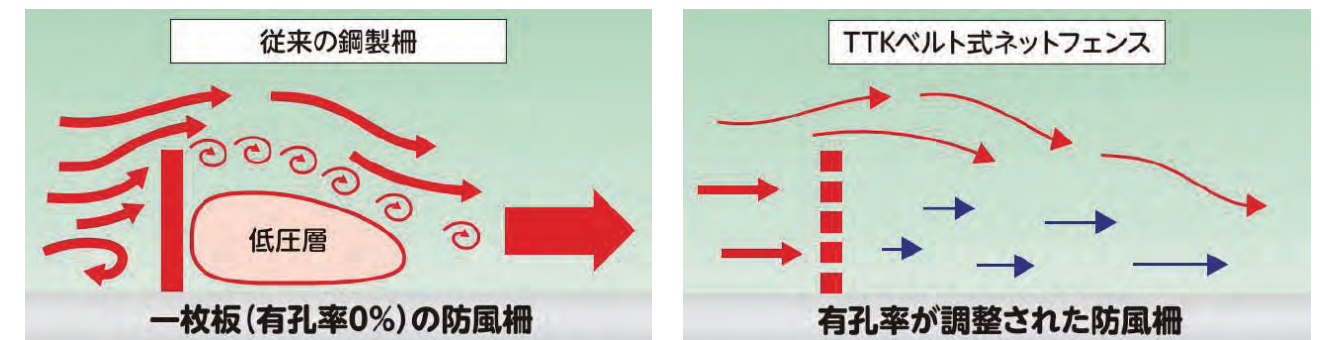
固定式	環境配慮型		P5
	下部無孔板型		P6
	低コスト型		P7
	防護柵取付型 橋梁取付型		P8
	木柱・電柱型		P9
	既存柵張替型 既存支柱取付型		P10
仮設式	簡易張立型		P11

ネットの種類

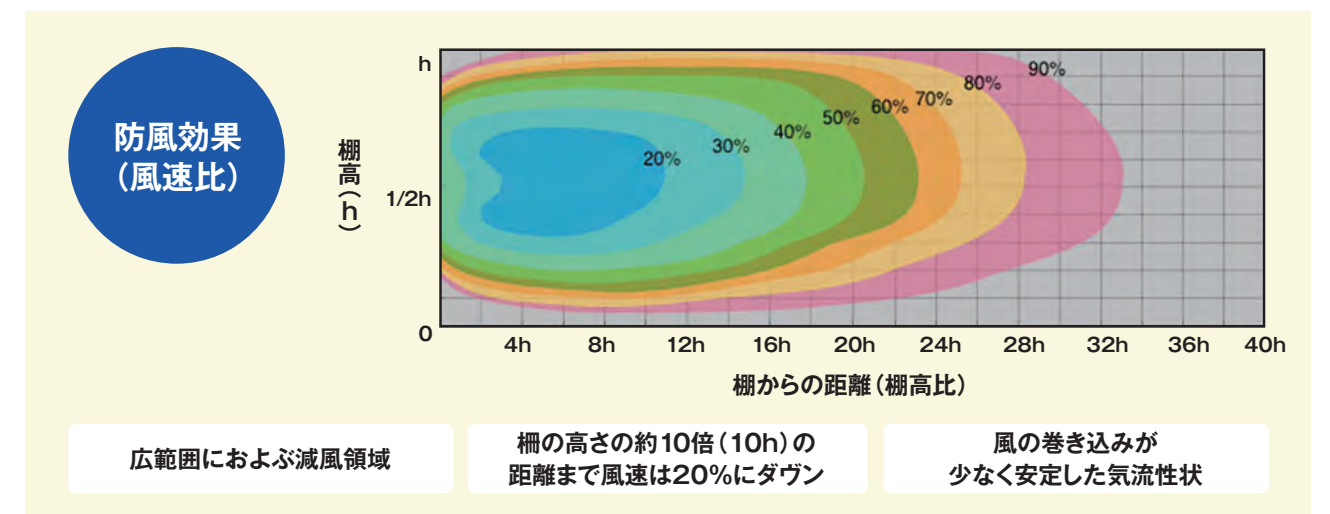


	ベルト式ネット	中目ネット
耐久性	屋外30年間の耐久性確認済み	繊維量が多く、強度が高い
施工性	両端に金具を取り付け	柱に直接取付けも可能
外観	圧迫感が少なく、ある程度の視認性を確保	透視性が良く、景観に違和感を与え難い

防風効果に優れている原理



- 風は壁を越えて流れ、低圧層(真空層)が発生
- 風が下方へ引き込まれ、効果は近距離のみ
- 風は拡散されて流れ、低圧層(真空層)を作らない
- 風が下方へ引き込まず、効果は遠距離までおよぶ



固定式

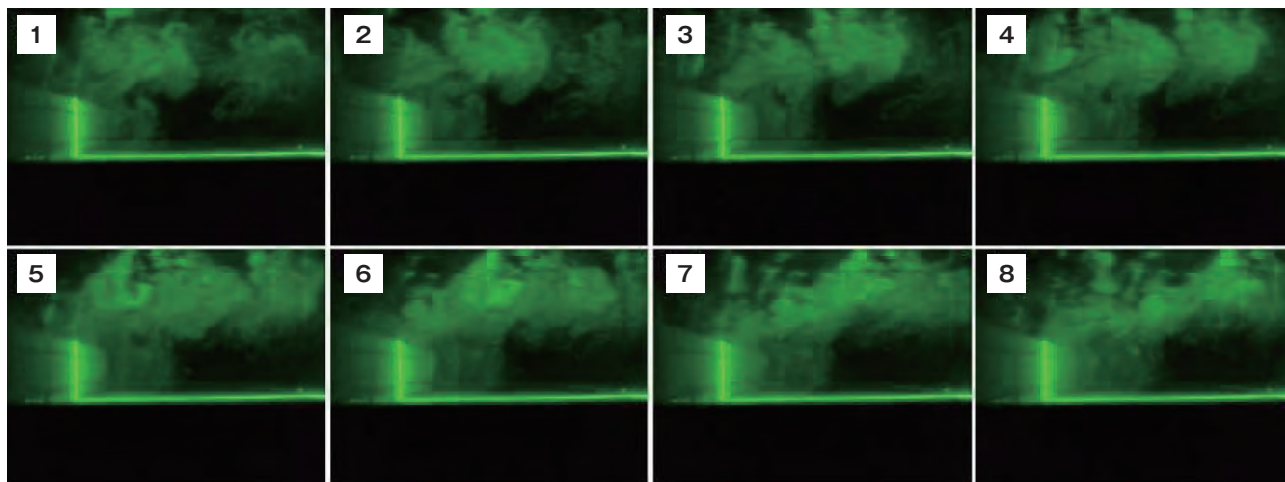
環境配慮型



鋼製の柱とアルミ金具を用いたネットユニットで構成され、不要時は収納もできるスタンダードなモデル。ネットで大きな減風効果が得られます。

- 2種類のネットを選択できます。
- 柵の高さ、耐風スペックも自由にオーダーできます。

気流の可視化風洞実験



減風領域が広く、巻込みの少ない気流柱状

(平成26年 北海道科学大学)

固定式

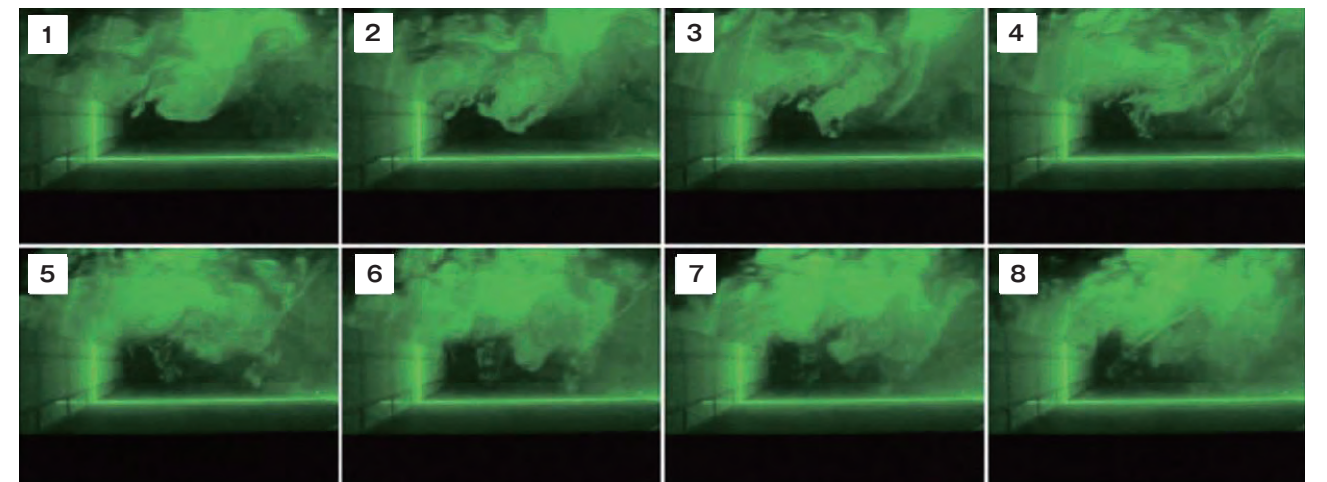
環境配慮下部無孔板



下部にアルミ製の無孔板、上部にはネットユニットを利用したハイブリッド型のフェンス。下部無孔板が風や雪を止め、ネットで乱気流を軽減します。

- 2種類のネットを選択できます。
- アルミ材を用いることで大幅な軽量化を実現し簡単に施工できます。

気流の可視化風洞実験



気流はやや上向きで視程障害や吹き溜まりの緩和効果が期待できる

(平成26年 北海道科学大学)

固定式

低コスト型



鋼製の柱とアルミ金具を用いたネットユニットで構成され、不要時は収納もできるスタンダードなモデル。

- 2種類のネットを選択できます。
- 柵の高さ、耐風スペックも自由にオーダーできます。

固定式

防護柵取付型



固定式

橋梁取付型



防護柵や橋梁の高欄を利用して取り付けます。基礎が不要となるため、施工期間が短く低コストで導入できます。

- 2種類のネットを選択できます。
- 柵の高さ、耐風スペックは防護柵・高欄の強度によって異なります。

固定式 **木柱型**



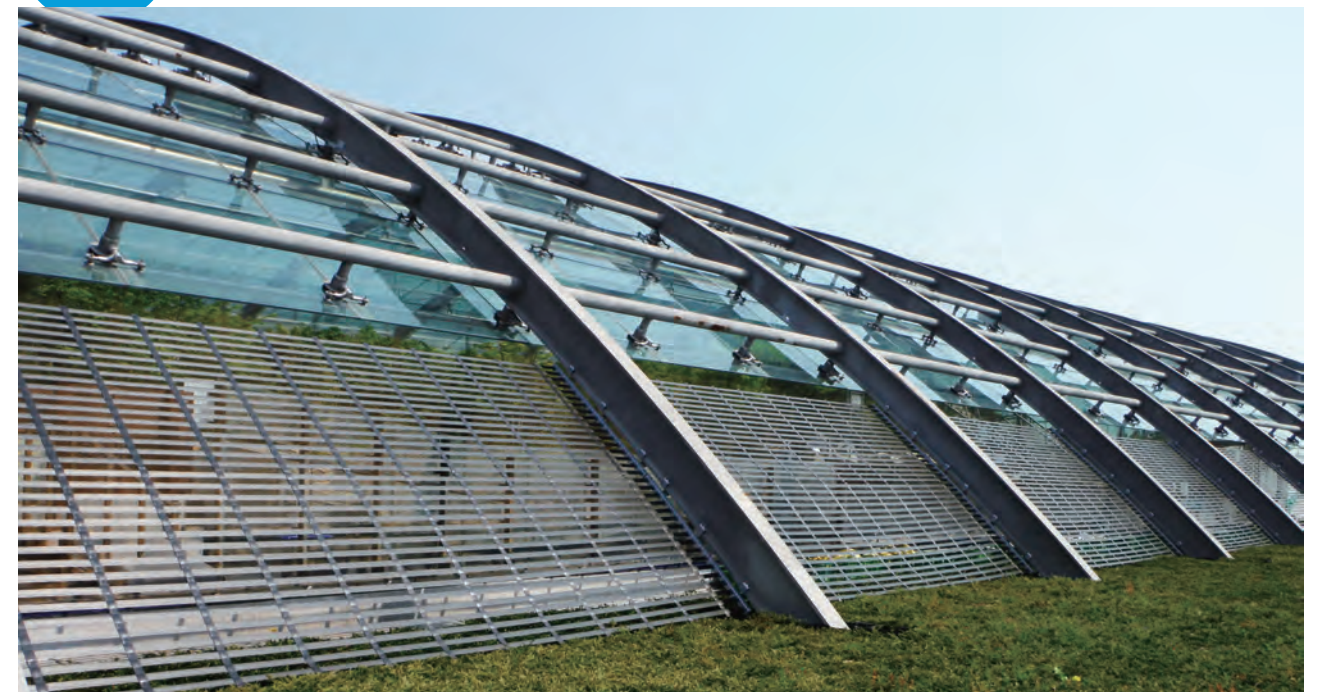
固定式 **既存柵張替型**



固定式 **電柱型**



固定式 **既存支柱取付型**



木柱や電柱（鋼管・コンクリート）を利用したモデルで基礎が不要なため施工期間が短くできます。

- 2種類のネットを選択できます。
- 柵の高さ、耐風スペックは柱材の強度により異なります。

既存施設に専用のアタッチメントを取付け、ネットユニットを取付けるモデルで施工期間が短く低コストで導入できます。

- 2種類のネットを選択できます。
- 柵の高さ、耐風スペックは柱材の強度により異なります。

仮設式

簡易張立型



単管パイプを利用したモデルで資材調達が容易。基礎が不要なため設置・撤去が可能。

- ネットの種類により構成部材が異なります。
- 柵の高さ、耐風スペックは柱材の強度で異なります。

パーツのみ

ネットロール



既存の施設や仮設施設の利用など様々な場面でご利用頂けるようにネットのみのご購入も可能です。取付けるモデルで施工期間が短く低コストで導入できます。

- ネットの種類はベルト式ネット中目ネットのみとなります。
- 幅1.9m×長さ30mのロール単位となります。

基礎の種類

直接基礎/杭基礎



着脱柱用基礎



直接基礎や杭基礎が一般的に用いられる基礎形式です。取付道など柱の着脱ができる着脱柱用基礎もえらべます。

- 地盤状況や設置スペース等により直接基礎か杭基礎か決定します。
- 基礎の大きさや杭の長さは地盤条件で異なります。

置き基礎



市販の基礎



軽量で風圧が小さいネットだから置き基礎や市販の基礎も選択できます。

- 2種類のネットを選択できます。
- 基礎の種類や大きさは柵の高さ、耐風スペック、地盤条件で異なります。